

カイゼン報告用紙

受理年月日 220611

提案受理番号

22-K001

標 題

市民の不用図書を活用し図書館に「リユースコーナー」開設

1 これまでのやり方(問題点)……何がどのように問題であったか具体的に
問題点

- ① 市立図書館の蔵書は、収容能力を超え、地下書庫の壁際に積み重ねるだけでなく、他目的の部屋にも収納している状況。
- ② 市民のリクエストに応えるため、常に新規図書の補填を図る必要があるが、資料購入予算は毎年のように削減(H22予算約1,800万円はH10の概ね半額)。
- ③ 市民から図書寄贈の申し入れに対し、書庫満杯を理由に郷土資料、人気本以外は断っている。このような中で、市民全体で図書の大きなリユースという仕組みをつくり、資源の有効利用を図るとともに、財政状況が厳しい中で図書館の蔵書の充実を図りたい。

2 取組内容……実施(改善)した方法について具体的に。

市民の関心と需要等を量るため、平成21年度の春及び秋の読書週間時に、広報やローカル紙に話題提供し、試行したところ、約1,500冊に及ぶ寄贈があり、約1,300冊を市民間でリユースすることができ、大変好評をいただいた。

そこで、平成22年4月1日から常設のリユースコーナーを図書館玄関に開設した。

3 改善の効果……効果について数量等を具体的に

4月1日からの本格実施に向け、事前に広報、タウン誌、HPで広報したところ、大変多くの図書の寄贈があり、図書館の除籍本と合わせ、毎日コーナーに配本し、自由に持ち帰っていただいている。

具体的な効果(一石三鳥)は、

- ① 資源の有効活用 3月 705冊、4月 473冊 計1,178冊に上る市民からの図書寄贈
- ② 市民と協働で図書館資料を充実 市民から寄贈された予約ベスト本、シリーズ物の欠本、長く読み次がれる絵本等を中心に27冊を蔵書にできた。
- ③ 〃 学校図書館を充実 園長校長会、教育セミナーで寄贈図書(児童書)を展示し、約50冊を有効活用していただいた。

4 改善に係る経費等の比較(金額、時間等)

備品は、常設コーナー実施を2年前から検討し、旧市史編纂室解体時に書棚等を確保 0円

① では、図書に関する市民間の大きな資源のリユースの輪ができる可能性。

2ヶ月間のみの実績だが、

② では、図書館予算を約4万円節減

③ では、学校図書館に約5万円程度の効果

課 等 名

図書館